

年間指導計画の作成について

●年間指導計画作成上の留意点

年間指導計画を作成するに当たって、留意したいことは次のとおりです。

- 学習指導要領における中学校美術の「目標」及び「内容」について理解を深める。
- 地域や学校の特色、中学生の実情等を把握し、その上で指導計画を立案する。
- 教科書の内容や題材をよく検討し、学習指導要領の「指導計画の作成と内容の取扱い」に配慮する。
- 個々の生徒が、その特性や持ち味を生かしながら意欲的に学習活動に参加できる魅力と、教育意義に富んだ指導計画を作成する。

●各学校における年間指導計画上の留意点

日文の中学校美術教科書の各題材は、学校や地域、生徒の実態、指導のねらい等々に応じて多様な取り扱いができるように、さまざまな要素によって構成しました。

従って、一つの題材から幾通りもの展開が可能ですが、年間指導計画案を例示するに当たっては、教科書の題材名をそのまま使用しています。

題材の具体化の過程において、先生方の創意や工夫が大いに発揮され、学校や地域、生徒の実態、指導のねらい、評価計画等に即した、より優れた指導計画が作成されることを願っています。

新型コロナウイルスに関連した感染症対策

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策が求められます。文部科学省*1より、「年度当初予定していた内容の指導を本年度中に終えることが困難な場合」の特例的な対応として、学校の授業における学習活動の重点化等を実施する際の年間指導計画の方向性が示されています。

指導計画の作成に当たっては、以下の観点にご注意いただき、各学校での実態に合わせて時間数をご検討ください。

- 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
- 感染症対策の観点から指導順序の変更等が考えられる教材・学習活動

※当該学年で取り扱う内容について、指導順序を入れ替えてもなお実施が困難となった場合、次年度において取り上げたり、類似した題材と組み合わせて取り上げたりするなどの配慮が必要となります。

※上級学年に指導内容を送った場合には、教員間でしっかりと引き継ぎをするなど十分に配慮していただくようご注意ください。

*1：文部科学省から、新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について適宜情報が発信されています。最新の情報は、文部科学省 Web サイトをご確認くださいませよう、お願いいたします。

<https://www.mext.go.jp/>

二期制の場合 第1学年

	月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	総計	
前後期に区分	週数	前期 18 週						後期 17 週						35 週
	前期 10 週 2 時間 他の週 1 時間	28 時間						17 時間						45 時間
	後期 10 週 2 時間 他の週 1 時間	18 時間						27 時間						45 時間
通年平均	週数	18 週						17 週						35 週
	通年平均等 (週約 1.3 時間)	23 時間						22 時間						45 時間

二期制の場合 第2・3学年

	月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	総計	
通年	週数	18 週						17 週						35 週
	時間	18 時間						17 時間						35 時間

三学期制の場合 第1学年

	月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	総計		
前後期に区分	週数	前期 18 週						後期 17 週						35 週	
	前期 10 週 2 時間 他の週 1 時間	21 時間				15 時間		9 時間				45 時間			
	後期 10 週 2 時間 他の週 1 時間	13 時間				18 時間		14 時間				45 時間			
通年平均	週数	13 週						13 週						9 週	35 週
	通年平均等 (週約 1.3 時間)	16 時間						17 時間						12 時間	45 時間

三学期制の場合 第2・3学年

	月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	総計		
通年	週数	13 週						13 週						9 週	35 週
	時間	13 時間						13 時間						9 時間	35 時間

年間指導計画案例

第2学年 年間指導計画例

二期制・三学期制

(平成28年度版教科書 美術2・3上)

第2学年の年間指導計画の例として、A案・B案・C案の3例を示しました。

・A案は、平均的な配当の例です。

・B案は、発展性を考え、題材を関連付けた配当の例です。

・C案は、表現と鑑賞のバランスを重視した配当の例です。

オリ…オリエンテーション 絵・彫…絵や彫刻など デ・工…デザインや工芸など

第2学年			A案				B案				C案					
二期	学期	月	ページ	分野・領域	題材名	時間	ページ	分野・領域	題材名	時間	ページ	分野・領域	題材名	時間		
前期 (18時間)	1学期 (13時間)	4	上 2-4	オリ	学びを深めよう	1	上 6-7	オリ	表現の可能性を求めて	8	上 2-4	オリ	学びを深めよう	1		
			上 6-7	オリ	表現の可能性を求めて		上 10-11	絵・彫	しぐさで語る動物たち		上 18-19	鑑賞	名画の魅力に迫る			
			上 8-9	絵・彫	新鮮な視点でとらえよう	5	上 54	資料	粘土でつくる		上 8-9	絵・彫	新鮮な視点でとらえよう	4		
		7	6	上 46-47	デ・工	手づくりを味わう喜び	6	上 32-33	鑑賞	漫画表現の豊かさ	5	上 44-45	鑑賞	座ることから考える	6	
				下 48-49	資料	受けつぎつくる人の姿		上 22-23	絵・彫	墨が生み出す豊かな世界		上 42-43	デ・工	やさしさのデザイン		
				上 55	資料	木でつくる		上 53	資料	水墨画の技法		上 46-47	デ・工	手づくりを味わう喜び		
				上 55	資料	金属でつくる		上 50-52	資料	日本美術の展開と世界との交流		上 55	資料	木でつくる		
	7	1	上 44-45	鑑賞	座ることから考える	1					上 24-31	鑑賞	東へ、西へ…	2		
							上 53-54	資料	現代に受けつがれる浮世絵版画							
	2学期 (13時間)	9	2	上 24-31	鑑賞	東へ、西へ…	2	上 24-31	鑑賞	東へ、西へ…	1	上 38-39	デ・工	情報をわかりやすく伝えよう	5	
				上 53-54	資料	現代に受けつがれる浮世絵版画		上 53-54	資料	現代に受けつがれる浮世絵版画		上 56	資料	配色		
				上 50-52	資料	日本美術の展開と世界との交流		上 34-37	デ・工	日本の美意識						
			12	3	4	上 42-43	デ・工	やさしさのデザイン	4	上 57	資料	日本の伝統色	4			
						上 40-41	デ・工	豊かなイメージで伝えよう		下 32-33	デ・工	魅力が伝わるパッケージ		上 16-17	絵・彫	心でとらえたイメージ
上 56						資料	配色	上 40-41		デ・工	豊かなイメージで伝えよう	上 32-33		鑑賞	漫画表現の豊かさ	
上 22-23						絵・彫	墨が生み出す豊かな世界	上 56		資料	配色	上 53		資料	水墨画の技法	1
後期 (17時間)	3学期 (9時間)	1	上 14-15	絵・彫	瞬間の美しさを形に	6	上 16-17	絵・彫	心でとらえたイメージ	6	上 12-13	絵・彫	響き合う言葉と絵	3		
			上 54	資料	粘土でつくる		下 20-21	絵・彫	イメージを形で表現しよう		上 34-37	デ・工	日本の美意識			
		3	2	上 18-19	鑑賞	名画の魅力に迫る	2	上 12-13	絵・彫	響き合う言葉と絵	3	上 57	資料	日本の伝統色	6	
				上 20-21	鑑賞	光が生むリアルとドラマ		下 53	資料	写真撮影の第一歩		下 48-49	資料	日本の世界文化遺産 受けつぎつくる人の		
				上 48-49	資料	まちを彩るパブリックアート		1								

ここに示した配当時間や指導計画は一例です。学校の実態に応じて、配当時間の調整や指導計画をご作成ください。

第3学年 年間指導計画例

二期制・三学期制

(平成28年度版教科書 美術2・3下)

第3学年の年間指導計画の例として、A案・B案・C案の3例を示しました。
 ・A案は、平均的な配当の例です。
 ・B案は、発展性を考え、題材を関連付けた配当の例です。
 ・C案は、表現と鑑賞のバランスを重視した配当の例です。
 オリ…オリエンテーション 絵・彫…絵や彫刻など デ・工…デザインや工芸など

第3学年			A案				B案				C案			
二期	学期	月	ページ	分野・領域	題材名	時間	ページ	分野・領域	題材名	時間	ページ	分野・領域	題材名	時間
前期 (18時間)	1学期 (13時間)	4	下 2-4	オリ	美を探し求めて	1	下 2-4	オリ	美を探し求めて	7	下 6-7	オリ	夢をかたちにするデザイン	1
			下 6-7	オリ	夢をかたちにするデザイン		下 48-49	資料	受けつぎつくる人の姿		下 18-19	鑑賞	ここでシャッターを切った理由	
			下 30-31	鑑賞	「ゲルニカ」は語る	2	下 38-39	デ・工	生活を彩る染めの味わい		下 53	資料	写真撮影の第一歩	
		下 20-21	絵・彫	イメージを形で表現しよう	7	下 54	資料	織る	下 14-15		絵・彫	一瞬の光をとらえて	4	
		下 54	資料	石を彫る		下 40-41	デ・工	暮らしを心地よくするインテリア	下 30-31		鑑賞	「ゲルニカ」は語る	1	
		下 18-19	鑑賞	ここでシャッターを切った理由	1	上 46-47	デ・工	手づくりを味わう喜び	下 16-17		絵・彫	問題意識を形に	5	
		下 53	資料	写真撮影の第一歩		上 55	資料	木でつくる	下 24-29		鑑賞	刻まれた祈り	1	
	下 24-29	鑑賞	刻まれた祈り	2					下 55	資料	仏像の種類			
	7	下 55	資料		仏像の種類									
	2学期 (13時間)	9	下 34-35	デ・工	光と影の空間演出	4	上 2-4	オリ	学びを深めよう	5	下 36-37	デ・工	自分たちの生活の場を飾ろう	5
			下 42-43	鑑賞	自然を愛でる空間		下 12-13	絵・彫	空想の世界への誘い					
			下 48-49	資料	日本の世界文化遺産	1								
		下 32-33	デ・工	魅力が伝わるパッケージ	7	下 42-43	鑑賞	自然を愛でる空間	3		上 20-21	鑑賞	光が生むリアルとドラマ	2
		上 57	資料	日本の伝統色		下 55	資料	近代の建築			上 50-52	資料	日本美術の展開と世界との交流	
下 50-52		資料	アートを体験する場に出かけよう	1	下 44-45	デ・工	デザインと環境	下 8-11			絵・彫	私との対話	6	
12						下 30-31	鑑賞	「ゲルニカ」は語る	5					
					下 16-17	絵・彫	問題意識を形に							
					下 22-23	絵・彫	共同制作の魅力							
					下 50-52	資料	アートを体験する場に出かけよう							
後期 (17時間)	1	下 8-11	絵・彫	私との対話	8	下 24-29	鑑賞	刻まれた祈り	2	下 46-47	鑑賞	デザインで変える現在と未来	1	
		上 16-17	絵・彫	心でとらえたイメージ		下 55	資料	仏像の種類		下 50-52	資料	アートを体験する場に出かけよう		
		下 56-57	オリ	あなたへ～中学校美術からの巣立ち～	1	下 8-11	絵・彫	私との対話		下 22-23	オリ	表紙作品「アーク・ノヴァ」	7	
					下 56-57	オリ	あなたへ～中学校美術からの巣立ち～							
										下 53	資料	アニメーションの表現	7	
										下 53	資料	コンピュータ・グラフィックスの表現		
	3									下 56-57	オリ	あなたへ～中学校美術からの巣立ち～	1	

ここに示した配当時間や指導計画は一例です。学校の実態に応じて、配当時間の調整や指導計画をご作成ください。